

UNIVERGE モバイルデスクソリューション

伊藤 晴紀・深野 真輝・宮岸 美貴子

要 旨

UNIVERGE モバイルデスクソリューションとは、オフィスの自席にあるパソコンのリソースを、オフィスの内外を問わず持ち歩くことの多いノートパソコンを用いて離れた場所からでも活用できる環境を提供します。ノートパソコンには個人情報や機密情報を含むデータを残さないため、情報漏えいを防止することも可能です。本稿では、UNIVERGE モバイルデスクソリューションの概要と特長、導入効果を紹介します。

キーワード

●オフィスセキュリティ ●情報漏えい ●利便性と安全性の両立 ●どこでもオフィス ●ブロードバンド
●リモートアクセス ●遠隔モニタ ●リモート電源制御 ●ロケーションフリー ●PC 設定フリー

1. はじめに

ブロードバンドネットワークの普及により、いつでもどこからでも業務を行える環境整備の需要が高まっていますが、その一方、社外で機密データを扱うことに伴う情報漏えいの危険性もあります。そこで、iEXPO 2005では、この相反するテーマである、モバイル環境の利便性と安全性の両立を実現した「UNIVERGE モバイルデスクソリューション」の展示を行いました。本ソリューションは「UNIVERGE ソリューション オフィスセキュリティ」体系の1つであり、導入により情報漏えい対策が可能となります。

2. UNIVERGE モバイルデスクソリューション

2.1 解決すべき課題

昨今、相変わらず多くの個人情報漏えい事件が報道され、大きな社会問題となっています。2005年4月の個人情報保護法の本格施行により、企業にとって情報漏えい対策は緊急を要する課題となりました。その結果、企業経営者としては、「ノートパソコンの社外持ち出し禁止」、「リモートアクセスの利用禁止」、といった社内規定を新たに設けざるを得ないのが実情です。一方、業務を遂行する従業員は、外出時にノートパソコンやリモートアクセスを利用できないことによって、業務効率の低下を余儀なくされています。

このようなブロードバンド時代に逆行してしまう状況を解決するための課題について以下に述べます。

(1) ノートパソコンによる情報漏えい

移動先での業務遂行に当たり、ノートパソコンは今や必須のツールですが、ノートパソコン内に個人情報などが保存されているため、盗難や紛失により機密情報が漏えいする危険があります。このためノートパソコン内にはデータを残さない工夫が必要になります(図1)。

(2) リモートアクセスの利用

社外で活動することの多い営業や保守・サポート担当者にとっては、現場(客先)で自社内のリソースを利用し、業務効率を上げることが必須です(図2)。

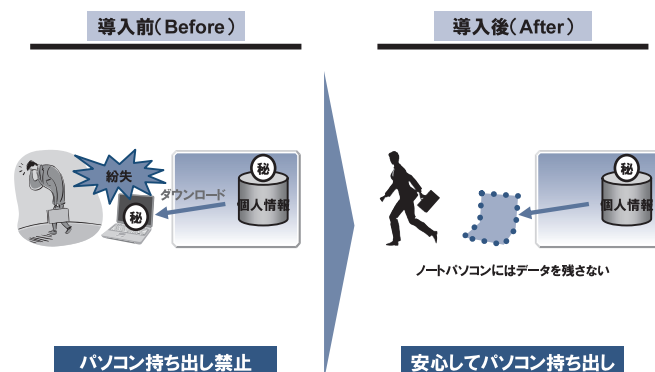


図1 ノートパソコンを持ち歩くための条件

ビジネスの革新 / ソリューション

UNIVERGE モバイルデスクソリューション

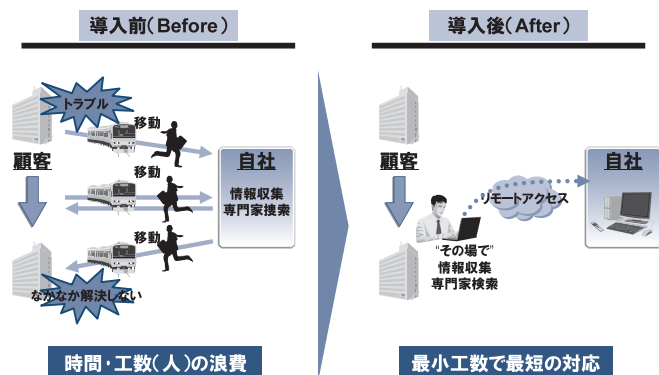


図2 リモートアクセスの必要性

しかし、社内にあるデータを外出先から参照できるようになると、データをノートパソコンにコピーすることも可能となるため、情報漏えいの危険が伴います。このため、ノートパソコンに社内のデータをコピーさせないようにする必要があります。もちろん、リモートアクセス時の盗聴などを防止するセキュリティ対策も施す必要があります。

(3) ブロードバンドネットワークの活用

ノートパソコンを携帯して、移動した先でネットワークに接続するには、その場に応じたネットワーク設定に変更しなければなりません。たとえばIPアドレスを変更するなどです。また、現在ではオフィスの内外を問わず、様々なネットワークアクセス媒体を利用できるようになりました。利用場所や媒体に応じて、適切に設定しなければネットワークを利用することができません。利用者がこれらを意識することなく、容易にブロードバンドネットワークを活用できる

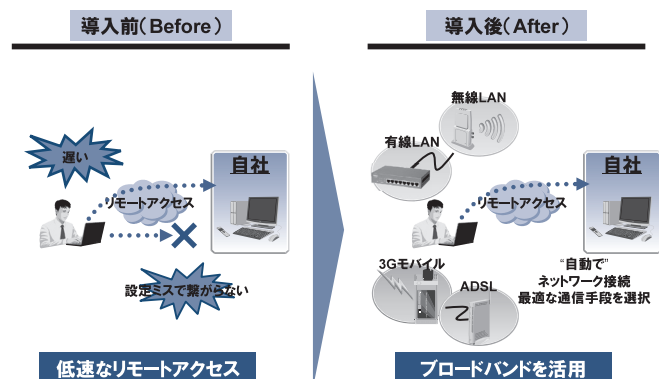


図3 ブロードバンドネットワークの活用

ことが求められます(図3)。

これらの課題を解決し、外出先でもオフィスと同じ環境をノートパソコンに提供することで利便性を維持し、かつ情報漏えいを防止することで安全性を確保できるのがUNIVERGE モバイルデスクソリューションです。

2.2 UNIVERGE モバイルデスクソリューションの特長

UNIVERGE モバイルデスクソリューションは、社内外のどこからでも、簡単に、安全に社内リソースへのアクセスを実現するネットワーク製品「UNIVERGE MBシリーズ」と、遠隔で自席パソコンの環境を実現するミドルウェア製品「WebSAMモバイルデスク」で実現しています。以下に、UNIVERGE モバイルデスクソリューションの特長を述べます。

(1) ノートパソコンを自席パソコンの遠隔モニタとして利用

移動先でノートパソコンから自席パソコンに接続して、ノートパソコンを自席パソコンの遠隔モニタとして利用することができます(図4)。ノートパソコンからは自席パソコン上のファイルやアプリケーションを利用するため、データをノートパソコンに入れて持ち出す必要がありません。さらに、ノートパソコンと自席パソコン間でファイルの二重管理や、ノートパソコンへのアプリケーションインストールを行う必要もありません。なお、移動先から自席パソコンに接続中、自席パソコンの画面はログイン待ち状態となり、遠隔での作業内容が周囲に見られることはありません。これはWindowsのリモートデスクトップ機能を活用することで実現しています。また、移動先での作業において、自席パソコンからノートパソコンへのコピー&ペースト、ファイル転送を禁止することができるためノートパソコン上に不用意にデータを残させません。なおデータのコピー&ペースト、ハードディスク共有制御は自席パソコン単位に可否を制御できます。

(2) 移動先から自席パソコンの電源制御が可能

利用ユーザや端末情報を管理するモバイルデスク管理サー

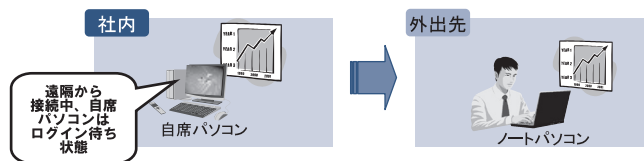


図4 ノートパソコンを遠隔モニタとして利用可能

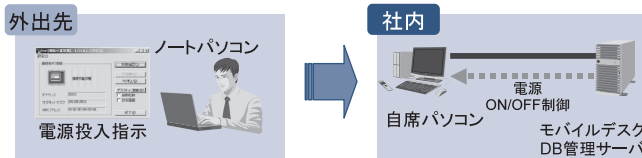


図5 移動先から自席パソコンの電源制御

ばは、自席パソコンの状態を確認し、ノートパソコンからの指示に従って自席パソコンの電源制御も行います。自席パソコンの電源がオフの状態でも、移動先でノートパソコンから電源投入を行うことができます(図5)。

(3) 移動先でのノートパソコンのネットワーク設定変更不要
ネットワーク間を移動しても、移動する前と同じIPアドレスを継承し、あたかも自分のオフィスのネットワークに接続されているかのような環境を提供するモバイルIP技術を用いています。端末がネットワークを移動したとき、端末のIPアドレスを管理し、移動先へ通信データを自動的に転送することで実現します。これにより、移動先でノートパソコンのネットワーク設定を変更しなくても自席パソコンに接続できるようになります。設定変更の煩わしさや設定ミスを解消でき、ネットワーク設定に詳しくない人でも簡単に利用できます。

(4) ロケーションフリー

移動先のアクセス環境に依存せず、簡単に自部門のネットワークにアクセスすることができます。モバイルIP技術を実現するUNIVERGE MBシリーズによって、客先などの社外の移動先からのアクセスだけでなく、会議室や自社拠点などの社内の移動先からイントラネットを経由して自部門へのアクセスが可能になります。さらに、移動先で通信可能なアクセス手段を自動的に選択し、最適な手段での通信を実現します(図6)。

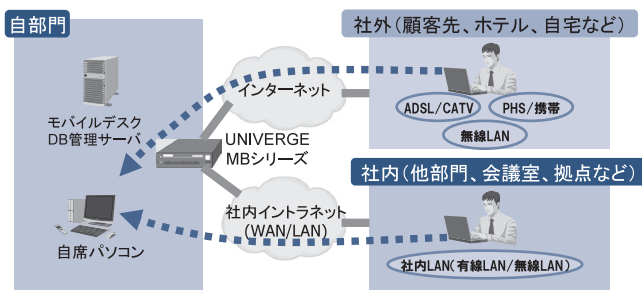


図6 ロケーションフリー

(5) 高セキュリティレベルの維持

移動先からはユーザ認証を行い、通信データのやり取りは、IPsecによって暗号化しているため不正アクセスや盗聴などを防止でき、インターネットを経由してもセキュリティを確保できます。また、通信トラフィックは常に自部門（自席パソコン）を経由した通信となるため、利用者がどこで作業していても、ノートパソコンからの通信に自席と同じアクセス権限を適用でき、ノートパソコンによる不適切な通信を防ぎます。なお、自席パソコンへの経路中にファイアウォールが設置されている場合でも、UNIVERGE MBシリーズを用いれば、ファイアウォールの設定を最小限にできるため、管理者の手間をかけることなく、セキュリティレベルを維持しながら、利用することができます(図7)。

このようにUNIVERGE モバイルデスクソリューションは、簡単に、安全に、社内外のどこにいても、いつでも自席と同じ環境で業務を行うことができるソリューションです。業務の効率化や意思決定の迅速化を実現し、企業のワークスタイルを変革する、真のどこでもオフィスを提供します(図8)。また、自席パソコン、ノートパソコンなどの既存資産を有効活用できるため、追加機器が少なく済み、初期コスト面・運用面で

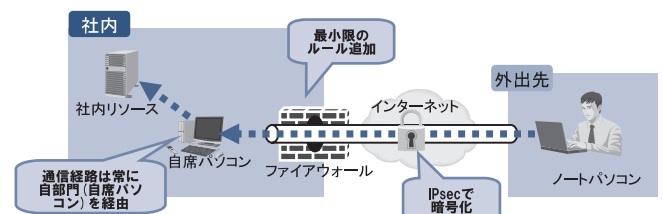


図7 セキュリティレベルの確保

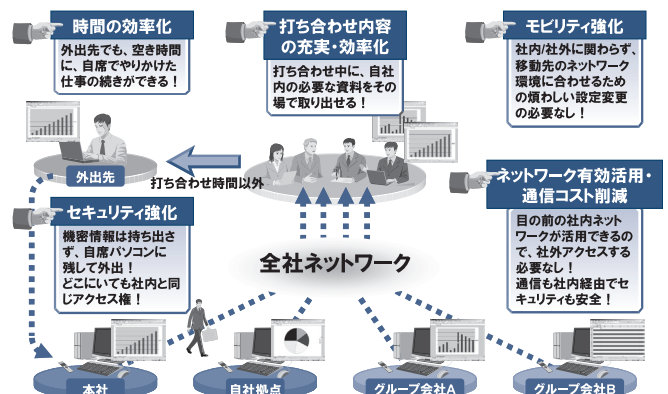


図8 真の「どこでもオフィス」実現イメージ

ビジネスの革新 / ソリューション

UNIVERGE モバイルデスクソリューション

もスムーズなシステムの導入が可能です。

2.3 UNIVERGE モバイルデスクソリューションの導入効果

UNIVERGE モバイルデスクソリューションは、以下のよう
な課題を抱えるユーザに高い導入効果を発揮します。

(1)データの持ち出しが禁止されているお客様

外出先での作業では、ノートパソコンを自席パソコンの遠
隔モニタとして利用し、自席パソコン上のデータを直接参
照、更新します。さらに、ノートパソコンに自席パソコン内
のデータをコピーすることはできないため、ノートパソコン
上にデータが残らず、万が一、ノートパソコンが盗難や紛
失にあっても、情報漏えいの被害を抑制できます。

(2)会議や外出が多く、自席での仕事に多くの時間を割けな いお客様

外出先で自席パソコンのリモート操作が可能のため、自席
で作業途中の業務を継続でき、時間を無駄にすることなく、
業務の効率化が図れます。なお、外出先から自席パソコン
の電源制御が可能のため、電源を投入したまま外出する必
要がなく、省エネにも貢献し、外出中に自席パソコンを不
法に操作される心配ありません。

また、打合せを進めていくうちに、事前に用意した資料以
外のデータが必要になった場合にも、その場で自席パソコ
ンに接続し、必要なデータを参照することでスムーズな進
行、意思決定の迅速化ができます。さらに、打合せ資料を
プロジェクトなどで投影すれば、資料のコピー、配布の事
前準備の時間を短縮できるだけでなく、ペーパーレス化も可
能になります。

(3)ノートパソコンと自席パソコン間のファイルやメールの 分散に困っているお客様、外出用のノートパソコンを複数 人で共有しているお客様

外出先でも常に自席パソコン上のファイル、アプリケーシ
ョンを利用するため、自席パソコン上でファイル、メールの
一元化ができ、管理工数を削減できます。また、外出のた
びに必要なデータをノートパソコンに入れて持ち歩く必要
がないため、複数人でノートパソコンを共有している場合
に、データが煩雑に蓄積されることを防ぐことができます。

(4)移動先が社内であってもインターネットを経由して自部 門にアクセスするお客様

その場にある社内LANを利用してイントラネット経由で自
部門にアクセスすることができるため、通信費を気にせず

業務を行うことができます。さらに、有線LANや無線LAN
といった社内LANを利用できるため、ダイヤルアップを利用
した通信に比べて、快適に作業ができます。

(5)ファイアウォールが設置されているため、移動先から自 部門へアクセスできないお客様

ファイアウォールには最低限のルール追加で、様々な場所
から社内リソースの利用を可能にします。セキュリティレベ
ルを維持して実現するソリューションなので、管理者の不
安を軽減します。

3. おわりに

以上、UNIVERGE モバイルデスクソリューションについて
紹介しました。近年、企業間の競争が激化し、より迅速かつ
柔軟な対応が必要になってきています。今後、UNIVERGEモ
バイルデスクソリューションは、これからのユビキタス環境を
見据え、お客様のさらなる業務効率化とワークスタイル変革
の実現に貢献すべく強化を図る予定です。

*Windowsは、米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標
です。

執筆者プロフィール

伊藤 晴紀

エンタープライズソリューション事業本部
UNIVERGEソリューション推進本部
ソリューション開発部主任

深野 真輝

ブロードバンドネットワーク事業本部
ブロードバンドプロダクト推進本部
主任

宮岸 美貴子

ブロードバンドネットワーク事業本部
ブロードバンドプロダクト推進本部

●本論文に関する詳細は下記をご覧ください。

関連URL:<http://www.sw.nec.co.jp/univerge/solution/pack/mobile/>